



**SOMPO**  
ホールディングス

保険の先へ、挑む。



# CSRブックレット 2015

持続可能な社会の実現に向けて





# 持続可能な社会の 実現に向けて

世界規模での自然災害の増加、超高齢社会、交通安全など、

さまざまな社会的課題が顕在化しています。

損保ジャパン日本興亜グループは、これらの社会的課題に正面から向き合い、

お客さまから信頼され選ばれる企業となる、

そして持続可能な社会の実現を目指していきます。

## グループの事業領域と主なグループ会社

当グループは、国内損害保険事業を中心に、国内生命保険事業、海外保険事業、金融・サービス事業を展開しています。





「CSRブックレット」は、損保ジャパン日本興亜グループのCSRのさまざまな取組みの一部をわかりやすく簡潔に紹介するブックレットです。CSRの取組みの詳細は、CSRコミュニケーションレポート、CSR取組み事例集、ホームページをご覧ください。



#### ■ CSRコミュニケーションレポート

当グループのCSR情報、ESG(環境、社会、ガバナンス)に関する定量情報などを詳細に紹介

#### ■ ホームページ

CSRコミュニケーションレポート、CSR取組み事例集のほか、グループ各社のCSR取組み情報などをタイムリーに掲載

<http://www.sompo-hd.com/csr/>

SOMPOホールディングスは、当社(損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社)および当グループ(損保ジャパン日本興亜グループ)の略称です。

## CONTENTS

### 安心・安全・健康

防災ジャパングプロジェクト	3
インドネシアでの交通安全プロジェクト	4
ミャンマーでの母子保健プロジェクト	4
認知症サポーターの育成	5
車いす整備・清掃活動	5
黄色いワッペン贈呈事業	6
みんなのひまわりプロジェクト	6

### 環境

SAVE JAPAN プロジェクト	7
損保ジャパン日本興亜の森林	8
市民のための環境公開講座	8
CSO ラーニング制度	8
東南アジアの気象災害の被害を軽減する保険の提供	9
風力発電事業者向けの火災保険『事故再発防止費用特約』	10
エコファンド『損保ジャパン・グリーン・オープン(愛称:ぶなの森)』	10
環境問題の解決に資する投融資の推進	10
環境問題の解決に資するコンサルティングサービスの提供	10

### 社会

東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館	11
損保ジャパン日本興亜人形劇場「ひまわりホール」	11
継続的な被災地支援:社員派遣プログラム	12
「東北3県復興支援マルシェ」開催	12
社会福祉の「活動と研究」を支援	13
認可保育園の運営	13
SOMPOホールディングス ボランティアアデー	14





お客さまとともに未来をつくる

安心・安全・健康

環境

社会

## 地域貢献プロジェクト

防災人形劇、体験型防災ワークショップ

# 防災ジャパンダプロジェクト

災害から身を守るための知識や安全な行動を理解していただくことを目的に「防災人形劇」および「体験型防災ワークショップ」を将来を担う子どもたちとその保護者を対象に実施しています。



© JAPAN-DA



- ▲「体験型防災ワークショップ」NPO法人プラス・アーツと協働し、実際に身体を動かしながら防災についての知識や技術を楽しく学ぶ／名古屋
- ▲「防災人形劇」オリジナルの防災ストーリー『さんびきのこぶた危機一髪!』をパペットシアターゆめみトランクが上演(第3回国連防災世界会議／仙台)
- ▼「体験型防災ワークショップ」の様子(ひょうご安全の日のつどい／神戸)



損保ジャパン日本興亜





子どもたちが安心・安全に暮らせる社会の実現に向けて

## インドネシアでの 交通安全 プロジェクト

インドネシアのバンドンにおいて、子どもたちが安心・安全に暮らせる社会の実現に向けて交通安全プロジェクトを展開しています。日本における交通事故の予防・削減のノウハウを活かし、教師や生徒に対する交通安全教育の実施、学校周辺の交通インフラの改善および地域や政府に対する働きかけを行っています。



交通安全啓発イベントの様子/インドネシア



SOMPO ホールディングス × Save the Children JAPAN

母子の健康改善を願う

## ミャンマーでの 母子保健 プロジェクト

ミャンマーの5歳未満児の死亡率や妊産婦の死亡率が、近隣の東南アジアの国々と比較して高く、その約9割が農村部に集中している現状をふまえ、ミャンマーの農村地域を対象に、母子の健康改善を目的としたプロジェクトを展開しています。



©Save the Children Japan



©Save the Children Japan

これらの事業は、「地域貢献プロジェクト」の一環として、お客さまにご契約時、「Web証券」や「Web約款」を選択いただいた場合や、自動車事故の修理時にリサイクル部品などを活用いただくことにより、削減できたコストの一部を原資に実施しています。



すべてのひとの安心・安全・健康のために

安心・安全・健康

環境

社会

認知症について正しく理解し、支える活動

# 認知症サポーターの育成

今後ますます進展する超高齢社会に向け、ご高齢のお客さまにより一層の安心をお届けするため、「認知症サポーター\*」の育成に取り組んでいます。

\*「認知症サポーター」は、厚生労働省が認知症対策として2005年に導入した制度で、「認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者」のことです。



全国キャラバン・メイト連絡協議会主催の2014年度「認知症サポーターキャラバン報告会」において「優良活動団体賞」を受賞



▲ 認知症サポーター育成に向けた研修の様子

◀ 半年間で全国1,200人以上が認知症サポーターに認定(損保ジャパン日本興亜保険サービス)

全国に広がる代理店と一体となった

# 車いす整備・清掃活動

代理店組織(AIR オートクラブ・JSA 中核会)と協働で、全国各地の社会福祉施設などで車いす整備・清掃活動を実施しています。2014年度は、全国で2,000人以上の社員・代理店が活動に参加し、4,000台を超える車いすの整備・清掃を行いました。



自動車整備の技術を活かし活動する参加者

▲「社会福祉法人 くのき」での活動 / 神奈川

◀「サービス付高齢者向け住宅 健やかココロン出作」での活動 / 香川



新小学1年生の交通安全を願って51年

# 黄色いワッペン 贈呈事業

みずほフィナンシャルグループ、明治安田生命保険、第一生命保険の3社とともに新小学1年生の子どもたちに交通事故防止の願いを込めて、交通事故傷害保険付の「黄色いワッペン」を贈呈しています。

1965年から2015年までの累計贈呈枚数は、約6,222万枚に達しています。



▲「黄色いワッペン」を付けた新小学1年生  
◀交通安全教室の様子

子どもたちの「笑顔を、まもる。」

# みんなのひまわりプロジェクト



小学校の授業などを通じて、子どもたちが種からひまわりを育てる喜び、花を咲かせる感動をみんなと分かち合うことで、子どもたちの笑顔がどんどん増えていくことを願い、2012年から取り組んでいるプロジェクトです。



▲みんなのひまわり授業の様子  
◀みんなのひまわりプロジェクトの特設ウェブサイト(損保ジャパン日本興亜ひまわり生命)







## 地域貢献プロジェクト

みんなで守ろう! 日本の希少生物種と自然環境

# SAVE JAPAN プロジェクト

SAVE JAPAN プロジェクトは、日本NPOセンター、地域の市民活動を支援するNPO支援センターや全国の環境NPOと協働で、市民参加型の生物多様性保全活動を行うプロジェクトです。

2011年度の開始から4年間で累計470回以上のイベントを開催し、24,000人を超える市民の皆さまに参加いただいています。



- ▲ トンボの楽園で生き物さがし / 高知
- ◀ ビオトープ整備と自然体験教室 in 茨戸川 / 北海道



▲ 中津干潟生きもの観察会 / 大分



▲ よみがえらせよう! レンゲツツジとニッコウキスゲの覚満淵 / 群馬



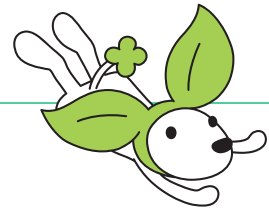
▲ 荒川における生物多様性の保全活動 / 東京



▲ 国蝶オオムラサキの棲む里山づくり / 山梨

本プロジェクトは、「地域貢献プロジェクト」の一環として、お客さまにご契約時、「Web証券」や「Web約款」を選択いただいた場合や、自動車事故の修理時にリサイクル部品などを活用いただくことにより、削減できたコストの一部を原資に実施しています。





地域社会と一体となった森林整備活動

# 損保ジャパン 日本興亜の森林

各自治体と森林整備の協定を締結するなど、地域の方々、グループ会社の社員、代理店、その家族とともに森林整備活動や環境教育を展開しています。

＜協定を締結した自治体＞  
群馬県・赤城山 鳥取県・琴浦町 長野県・築北村 高知県・馬路村  
長野県・富士見町 宮崎県・西米良村 三重県・津市 (2015年4月現在)



▲「とっとり共生の森」での活動／鳥取

▼ 野外講座「食べる自然体験」



NPO/NGOと企業によるパートナーシップの先駆け

# 市民のための 環境公開講座

1993年から損保ジャパン日本興亜、(公財)損保ジャパン日本興亜環境財団および(公社)日本環境教育フォーラムの3者共催で、一般市民向けの講座として開講しました。2014年で22年目を迎え、これまでに延べ18,000人の方々に参加いただきました。



▲ 講座の様子

▼ 定例会の様子



大学(院)生の環境NPO/NGOへのインターンシップ支援

# CSO ラーニング制度

(公財)損保ジャパン日本興亜環境財団が2000年度から開始した大学生・大学院生を対象とする環境NPO/NGOでの8か月間の長期インターンシップ制度で、毎年約60人の学生に環境問題や市民社会について学ぶ機会を提供しています。2014年度末での修了者は843人となりました。



▲ 全国合宿の様子

安心・安全・健康

環境

社会



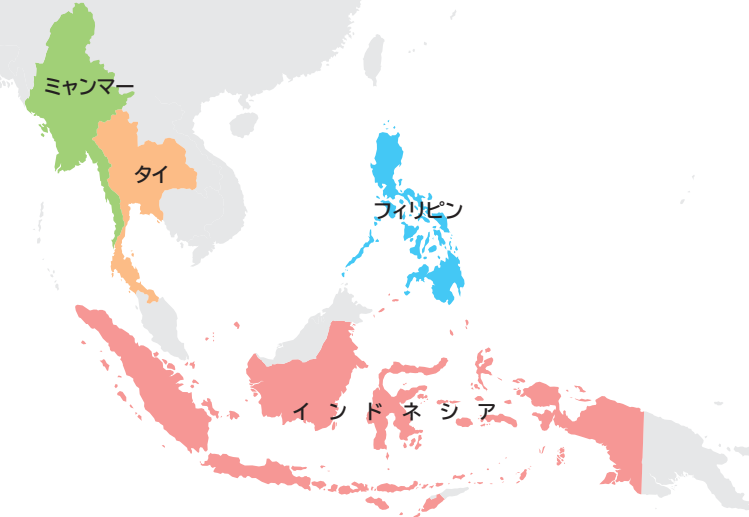


『天候インデックス保険』の提供

# 東南アジアの気象災害の被害を軽減する保険の提供

現在、気候変動に伴う干ばつや洪水などの気象災害が増加しています。気候変動の影響を受けやすい農業が主な産業である東南アジアにおいて、当グループは、農業経営リスクの軽減を目的とした保険商品を販売しています。

2010年、タイ東北部の稲作農家の干ばつ被害の軽減を目的とした『天候インデックス保険』の販売を開始し、年々販売地域を拡大しています。2014年には、フィリピンのミンダナオ島の台風による農業生産者の被害軽減を目的とした『台風ガード保険』の販売を開始しました。また、ミャンマー中央部の乾燥地帯における干ばつ被害軽減を目的とした保険や、インドネシアでも同様の保険の提供を目指し、商品の開発を進めています。



国連開発計画(UNDP)が主導する「ビジネス行動要請(BCtA: Business Call to Action)」に承認(2015年)



▲ ヒアリングサーバイの様子/ミャンマー



▲ 商品の説明会の様子/タイ



▲ 田畑の風景/インドネシア



▲ 保険金お支払い手続き説明会の様子/タイ



## 風力発電事業者向けの火災保険 『事故再発防止費用特約』

火災、落雷、風災などの事故に対してお支払いする通常の保険金に加え、事故発生後の再発防止費用にかかる保険金（事故原因調査費用、再発防止点検費用）をお支払いする保険を販売しています。



「第11回エコプロダクツ大賞  
エコサービス部門」で「環境大臣賞」受賞



## エコファンド 『損保ジャパン・グリーン・ オープン(愛称:ぶなの森)』

企業の環境問題への取組状況と投資価値の両面から分析して、評価の高い銘柄に投資する投資信託(ファンド)です。1999年9月に運用を開始し、2015年6月末時点の純資産残高は約231億円と、SRI(社会的責任投資)ファンドとしては日本最大級のファンドです。(損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント)



## 環境問題の解決に 資する投融資の推進

クリーンエネルギーの普及を促進する太陽光発電・風力発電システムなどを対象とした個人向け提携融資、社会インフラの整備などの成長分野への投融資を通じて、環境問題の解決に貢献しています。



## 環境問題の解決に資する コンサルティング サービスの提供

気候変動、省エネルギー、生物多様性、環境汚染といったリスク、環境マネジメントシステム取得支援、グリーンビルディングの分野で、企業の環境に関するリスクを低減させる最適なソリューションを提供し、企業経営をサポートしています。(損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント)







ゴッホ《ひまわり》のある美術館

# 東郷青児記念 損保ジャパン 日本興亜美術館

1976年に西新宿の本社ビル42階に開館しました。ゴッホの《ひまわり》をはじめ、ゴッガン、セザンヌ、東郷青児、グランマ・モーゼスの作品などを常設展示しています。美術館を運営する(公財)損保ジャパン日本興亜美術財団は、各種展覧会の開催のほか、新進作家の支援、「対話による美術鑑賞教育」の普及支援にも力を入れています。



2015年4月に公開された人気アニメ映画「名探偵コナン・業火(ごうか)の向日葵(ひまわり)」の制作に協力



《ひまわり》 1888年 フィンセント・ファン・ゴッホ

▲ 東日本大震災復興支援事業として、2014年7月15日～8月31日に宮城県美術館でゴッホの《ひまわり》の特別公開を実施



▲ 新宿区立小中学校を対象に「対話による美術鑑賞教育」支援を実施

人形劇を通じた地域貢献活動

# 損保ジャパン日本興亜人形劇場 「ひまわりホール」

1989年から愛知県名古屋ビルに人形劇専用劇場「ひまわりホール」を所有し、劇場の運営団体であるNPO法人愛知人形劇センターとともに地域貢献活動に取り組んでいます。東日本大震災発生以降は、人形劇を通じた子どもたちの心のケアと地域コミュニティーの再生・活性化を目的に、岩手県釜石市の子育て支援センターや幼稚園での出張公演「人形劇スマイルキャラバン 笑顔届け隊！」を継続的に実施しています。



▲ 岩手県釜石市の公演では、社員ボランティアによる手作りのボールをプレゼント



美術館で実施されている、「対話による美術鑑賞教育」、公募コンクール「FACE展(損保ジャパン日本興亜美術賞展)」、また、ひまわりホール、釜石市での人形劇の取組みは、(公社)企業メセナ協議会の「This is MECENAT」に認定されています。



ひまわりホールでの公演の様子



復興に取り組むNPOのサポート役として社員を派遣

## 社員派遣プログラム

被災地復興支援が短期的なボランティアなどから中長期的な支援へと変化するなか、マネジメントスキルをもった企業人によるサポートのニーズが高まってきていることを受け、被災地復興に取り組むNPOのサポート役として社員を業務派遣する東日本大震災復興支援「社員派遣プログラム」を実施しています。派遣先の団体スタッフとのコミュニケーションを重ねながら、課題解決に取り組んでいます。



▲ 2012年度、2014年度は「(一社)キャンパス東北」へ派遣

◀ 2013年度は「(一社)福島復興ソーラー・アグリ体験交流の会」へ派遣

東北3県の銘品の魅力を伝える

## 「東北3県復興支援マルシェ」開催

2015年3月5日に日本橋ビルにて、東日本大震災で被災した東北3県の物産品の魅力を幅広く紹介し、食品の安全・安心を伝えることを目的に、「東北3県 復興支援マルシェ～発掘!! 岩手・宮城・福島の隠れた銘品をご紹介!～」を開催しました。



◀ 復興大臣政務官 小泉進次郎氏もご来場



◀ 左から 福島県 八重たん、ジャパンダ、岩手県 そぼっち、宮城県 むすび丸





# 社会福祉の「活動と研究」を支援

1977年設立の(公財)損保ジャパン日本興亜福祉財団では、国内外の社会福祉分野で活躍するNPO団体などへの助成を行うとともに、在宅で高齢者を介護する家族への支援、介護福祉士を目指す学生への奨学金の給付をしています。

また、社会福祉・社会保障・保険・ジェロントロジー(老年学)に関する研究会の開催や研究助成、社会福祉学術文献表彰事業「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」などを行っています。「社会福祉の実践」と「社会福祉の学術」の両面から、社会福祉の発展と向上を目指して、時代のニーズにあわせた事業を展開しています。



▲ 介護福祉士を目指す学生への奨学金給付(介護実習風景)



▲ 自動車購入費助成の贈呈式/長崎



▲ 損保ジャパン日本興亜福祉財団賞の講演会



▲ 海外助成の贈呈式/インド

# 認可保育園の運営

(一財)損保ジャパン日本興亜スマイルキッズでは、東京都文京区で生後43日目から就学前までの約60人のお子さんをお預かりする認可保育園「損保ジャパン日本興亜スマイルキッズ江戸川橋保育園」を運営しています。園児たちは、晴れた日はお散歩に出かけ、季節の行事や運動会、遠足などを楽しみながら、元気に毎日を過ごしています。



▲ 絵や図を使って食育の学習



▲ 広い公園で楽しく運動



▲ ミニトマトの収穫

◀ 福祉作業所のクッキー販売会をお手伝い





Make a CHANGE Day

「第5回 Make a CHANGE Day」  
で犬賞受賞

# SOMPO ホールディングス ボランティアデー

2011年から全グループ社員がボランティア活動に取り組む「SOMPOホールディングス ボランティアデー」を毎年開催しています。

東日本大震災復興支援、国際協力、福祉や環境などのさまざまな取組みを行い、毎年10,000人を超える社員が参加しています。



▲「介助犬講座・デモンストレーション」/東京



▲「第4回大阪マラソン2014」でのボランティア/大阪



▲ 小学校へスポーツ用品などを寄贈(損保ジャパン日本興亜タイランド)



▲ 子どもたちへの健康教育と寄附(損保ジャパン日本興亜インドネシア)



▲ 本社近隣路上での清掃活動(そんぼ24)



▲ 事業所周辺の路上での清掃活動(セゾン自動車火災)



▲ チャリティドッジボールトーナメントでの運営ボランティア(損保ジャパン日本興亜アメリカ)

安心・安全・健康  
環境  
社会





損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

TEL.03-3349-3000

URL <http://www.sompo-hd.com/>

